

## 未耐震施設の耐震化と学校の拠点施設整備について

## 【未耐震施設の耐震化】

## ・耐震化の状況について

これまでの整備については、対象施設の構造耐震指標、建設年度、立地条件等を勘案し、耐震補強、改築（老朽化による危険改築と耐震化による不適格改築）、長寿命化改良、大規模改造より手法を選定し耐震化を実施。 … 別紙整備状況参照

## ・未耐震施設について

## 中西小学校

校舎①(管理教室棟) S38 建築 S造 527 m<sup>2</sup> Is=0.20

校舎②(教室棟) S32 建築 W造 624 m<sup>2</sup> Iw=0.32

## 真砂小学校

校舎①(教室棟) S41 建築 S造 327 m<sup>2</sup> Is=0.10

校舎②1(管理教室棟) S41 建築 S造 319 m<sup>2</sup> Is=0.10

校舎②2(管理教室棟) S41 建築 S造 99 m<sup>2</sup> Is=0.66

## 戸田小学校

校舎① (管理教室棟) S34 建築 W造 603 m<sup>2</sup> Iw=0.33

## 益田中学校

校舎②(渡り廊下棟) S53 建築 S造 44 m<sup>2</sup> Is=0.26

校舎③(渡り廊下棟) S53 建築 S造 36 m<sup>2</sup> Is=0.63

## 真砂中学校

校舎①(教室棟) S28 建築 W造 264 m<sup>2</sup> Iw=0.25

校舎②(管理教室棟) S28 建築 W造 283 m<sup>2</sup> Iw=0.16

校舎③(特別教室棟) S28 建築 W造 262 m<sup>2</sup> Iw=0.24

※構造耐震指標(Is 値、Iw 値)とは、震度6強の地震が発生した際の建物の強度、形状、経年劣化の要因等から評価される建物の耐震性能を表す指標。

◆Is 値とは非木造施設の構造耐力上、主要部分の地震に対する安全性を示す数値で、0.6 以上が倒壊の危険性が低いとされている。

◆Iw 値とは木造施設の構造耐力上、主要部分の地震に対する安全性を示す数値で、1.0 以上が倒壊の危険性が低いとされている。

◇学校施設(文部科学省)については、児童生徒等の安全性・応急避難場所としての機能性を考慮し、Is 値 0.7 以上、Iw 値 1.1 以上を超えることとしている。

## 【益田市学校施設整備計画】

### ・計画の位置づけ

本計画については、学校施設の整備に関する計画のうち、国・県が至急取り組むべきと位置付けている耐震化事業に特化した計画とする。

### ・計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

### ・施設整備計画の方向性

- ① 耐震性能の低い施設から最優先に整備する。
- ② 整備方法については、対象施設の状況から改築(耐震化による不適格改築)とする。
- ③ 学校再編計画との整合性を図る。

## 【学校の拠点施設整備】

### ・学校施設をとりまく益田市の現状

これまで、市が設置する小中学校は学校教育を行う場としてその役割を果たしてきました。一方で、地域づくり・ひとづくりは、社会教育事業が中心となって各地区20の公民館を中心に行われてきています。現在、人口減少社会に突入し、公共施設に関する財政負担の軽減・平準化と最適な配置を実現するため、「益田市公共施設等総合管理計画」も策定されるなど、公共施設の設置について見直しを行っているところです。また、国・県が推進する小さな拠点づくりも、市は20地区を単位として行っており、施設の集約化・多機能化を含めた施設そのものの考え方を変えていく時期にも来ています。

### ・「ひとが育つまち益田」の実現

小中学校期においては「ライフキャリア教育」として「地域で暮らし活躍する人との、出会い・ふれあい・ともに活動すること」を通じ、より多くの子が「大人になった時の生き方の選択肢を広げていく」ことを目指して様々な取組を実施しています。

学校施設は、子どもたちの「確かな学力(知)・豊かな心(徳)・健やかな体(体)」をバランスよく育む場であり、学校教育機能を推し進めていくことは今後も変わるものではありません。しかし、これからは学校を取り巻く地域自体が持続可能であることや、その地域で「ひとが育つまち益田」が実現されることも重視していく必要があります。

そのことから、学校を「学校教育」「地域づくり」「ひとづくり」の三位一体の場所であることを前提として、そのあり方(機能・施設)を再検討していくべきと考えます。

### ・今後の学校施設整備の方針について

小中学校のあり方(基本指針)に基づいた施設整備の実施

小学校

学校施設をより地域に開かれた空間とすることで地域で暮らし活躍する人とのつながりを感じる場としていく「学校を核とした地域づくり」を目指す。

---